

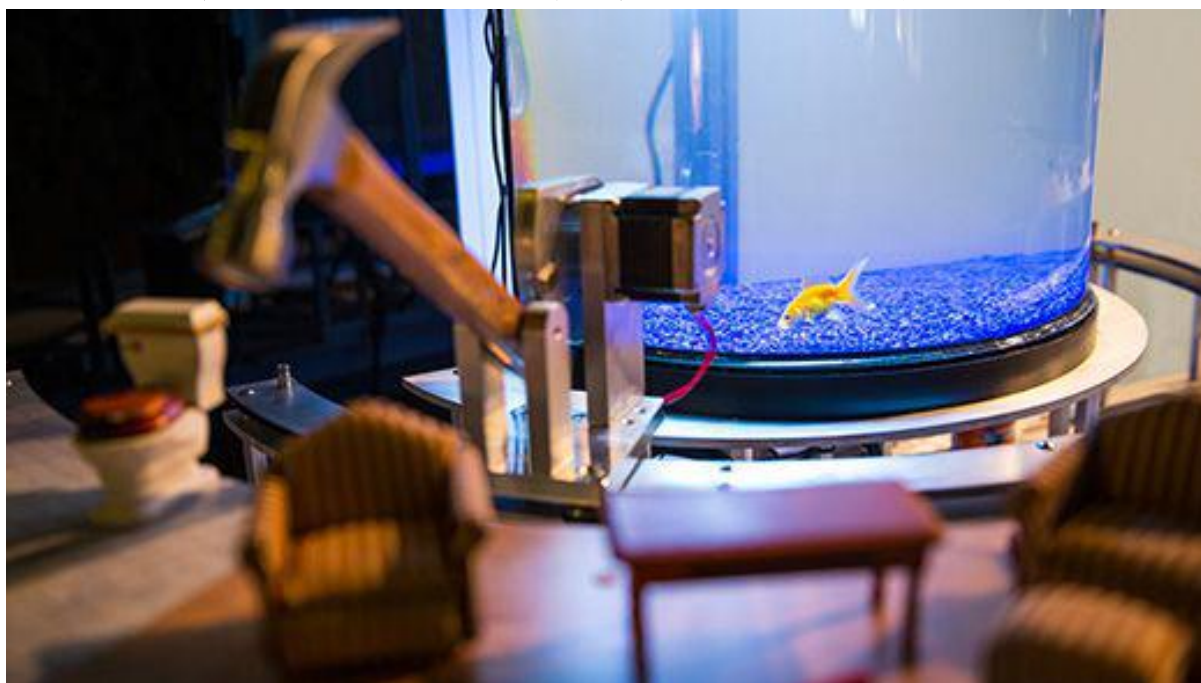
デジタルファブリケーション領域のグローバルアワード 「YouFab2018」全受賞作品発表



FabCafe Global（東京、飛騨、京都、台北、バルセロナ、バンコク、トゥールーズ、シンガポール、ストラスブール、モンテレイ）が主催するデジタルファブリケーション領域のグローバルクリエイティブアワード「YouFab Global Creative Awards 2018」（以下、YouFab）の受賞作品を発表しました。

2018年8月1日から10月31日までの応募期間中に、32カ国から応募のあった合計158作品から、審査を経てグランプリ1点、準グランプリ1点、ライオン賞1点、一般部門賞1点、学生部門賞1点、ファイナリスト11点が選出されました。

グランプリは、金魚とテクノロジーを使い、生態系への問題提起を行う作品



グランプリは、アメリカ在住の英国人メディアアーティストであるニール・メンドーサ(Neil Mendoza)の「Fish Hammer」が受賞しました。金魚が水槽の中を動き回り、その金魚の動きに合わせて、ハンマーがミニチュア家具に振り降ろされます。人間の生活が、生態系に与える影響を問題提起した作品です。

“「Fish Hammer」は、観る者を微笑ませてくれると同時に、熟考させてもくれる作品です。(中略)舞台効果を考え巧みに書かれた脚本を持つ、思慮深い芸術作品であり、人新世(アントロポセン)における主要課題や、人類が自然にもたらす影響のなかで持続可能かつ責任あるバランスを見つける、という今日の我々の取り組みを効果的な方法で扱っています。観ている私たちは人間がハンマーを制御している魚だと思ってしまうかもしれませんが、生態系の相互関係がそれほど単純ではないことがすぐに分かってきます(後略)” — 審査員 Gerfried Stocker氏のコメントより

準グランプリは、工場労働者の脳波を反映させたニット作品



準グランプリは、アメリカのアニ・リウ(Ani Liu)によるプロジェクト「Mind in the Machine」です。工場で働く労働者の脳波を計測し、彼らの知覚・認知状態を反映したニットを編んだ作品です。機械製造が主流である現代における「人間の手作業」を象徴すると同時に、自動化に支えられた経済への、無名の人々の貢献を反映しています。

“機械と人の関係が、様々な場で問われている。機械は人をサポートしてくれるはずだった。それが気づくと、人が機械の支配下にある。中国のニット工場でそんな場面に直面し、労働者と出来上がったニットの関係をつなぎ直そうとする発想がユニークだ。働く人がリラックスしているときは緩く穏やかに、ストレスを感じているとき網目が細かく突っ張って編み込まれるプログラム。そうして仕上がったニットは、普段表に出ることのない大量生産を支えている名もなき人たちの声を拾っているようだ。” — 審査員 林千晶のコメントより

仕事と暮らしが溶け合う未来をテーマにしたライオン賞は、自然をハックした作品

YouFab2018では、ライオン株式会社による「特別賞」が設置されました。特別賞では「MERGE- 仕事と暮らしが溶けあう未来」をテーマに、プロダクトやサービス、アート、プロジェクトなどを募集。審査を経て、日本のクリエイターユニット、ガダラ（GADARA）によるプロジェクト「Hack the Natural Objects.」が選ばれました。”自然物”にセンサーなどの人工的な機能を組み込み、傾きによって音量や明量などのアウトプットをコントロールします。自然と人工が“MEARGE”する日常、というコンセプトをプロトタイピングした作品です。

“ 何でもなく、いつもそこにあるもの。いつもは見逃しているもの。自然が創り出した造形。実は私も自分で木を削りだしたキーフォルダーを30年以上使っています。使い続けていながらも、その手触り感や愛着を忘れていました。この作品の、自然の造形を活かし、人工的な機能を付けることにとても共感するとともに、この世界がもともと持っている自然とヒトが作ったものとのMERGEという、僕たちが持っていなかった概念に改めて気づかせてもらいました。”

ーライオン賞審査員 ライオン株式会社 研究開発本部イノベーションラボ所長 宇野大介より

一般部門賞は、大量の紙をレーザーカッターで加工したレリーフ「Typhoon I」（クリエイター：Michael Koehle）が受賞、学生部門賞にはテレプレゼンス技術を活用し、複数人が一つの体をシェアして共同作業を行える「Fusion」（クリエイター：MHD Yamen Saraiji, Tomoya Sasaki）が受賞しました。



左「Typhoon I」（クリエイター：Michael Koehle）右「Fusion」（MHD Yamen Saraiji, Tomoya Sasaki）

全ての受賞作品と、受賞作に対する審査員のコメントは以下のページよりご覧ください。

[結果発表ページ（英語）](#) [結果発表ページ（日本語）](#) [受賞作品一覧画像ダウンロード](#)

授賞式と受賞作品展示会を開催

2月16日（土）19時より、東京・九段下にあるkudan houseにて、受賞者や審査員を招いた、[授賞式](#)を開催します。また、2月17日（日）から2月24日（日）まで、同会場で、上位受賞作品を中心にした[YouFab2018展示会](#)を行います。



上) 会場のkudan house の外観。左下) 昨年の展示会の様子 右下) 昨年の授賞式の様

YouFab Global Creative Awards 2018概要

■募集対象

プロダクト、アート、建築から、パフォーマンスアートやワークショップなどのプロジェクトまで、デジタルとフィジカルなものづくりの連携から生まれた実験や活動、作品が対象です。企画書、設計図などの構想段階ではなく、デジタル工作機械などを使い、具体物として完成していること、実施されていること、運用されていることがエントリー条件です。すでに発表済みの作品も応募可能です。

■募集部門

- ・学生部門：応募時点で、大学や専門学校など学校に在学している方に限ります。年齢、国籍は問いません
- ・一般部門：年齢、国籍を問わずどなたでもご応募いただけます。法人での応募も可能です

■賞について

- ・グランプリ（1点）：トロフィー / 賞金 1,000 USD
- ・準グランプリ（1点）：トロフィー / 賞金 500 USD
- ・学生部門賞（1点）：賞状 / 賞金 300 USD
- ・一般部門賞（1点）：賞状 / 賞金 300 USD
- ・特別賞 「ライオン賞」（1点）：賞状 / 賞金 1,000 USD
- ・入賞（数点）：賞状

■スケジュール

募集期間：2018年8月1日～2018年10月31日

一次審査結果発表：2018年12月10日

最終審査結果発表：2019年1月15日

授賞式：2019年2月16日

展示会：2019年2月17日～2月24日

■審査員

審査委員長 若林恵
編集者



ゲルフリート・ストッカー
アルスエレクトロニカ総合芸術監督



ジュリア・カセム
KYOTO Design Lab. 特任教授



吉泉聡
TAKT PROJECT 代表



林千晶
ロフトワーク
共同創業者 代表取締役



協賛パートナー：

プラチナスポンサー：ライオン株式会社

LION

ゴールドスポンサー：株式会社NI-WA



シルバースポンサー：トロテック・レーザー・ジャパン株式会社



ブロンズスポンサー：

アドビ システムズ 株式会社、オートデスク株式会社、公益財団法人 江副記念財団



協力

国際交流基金アジアセンター



企画運営：ロフトワーク

主催：FabCafe



FabCafeについて

FabCafeは、現在世界10拠点（東京、京都、飛騨、台北、バンコク、バルセロナ、トゥールーズ、ストラスブルグ、シンガポール、モンテレイ）に広がるクリエイティブネットワークです。各拠点には、スペシャルティコーヒーとデジタル工作の両方を楽しめる空間があり、ユニークなクリエイターが集い、出会い、才能を競い合い、発表の場を共有しています。

■お問合せ先

株式会社ロフトワーク

広報担当：鈴木（pr@loftwork.com）